



J R 東日本グループ
株式会社 J R 中央ラインモール

環境報告書 2018

Environmental Report



目次 

- 01 目次/会社沿革/会社概要
- 02 会社設立の背景/nonowa とは/会社方針
- 03 環境経営の基本的な考え方について
- 04 トップメッセージ
- 05 環境に関する取り組み ①ののみち整備
- 07 環境に関する取り組み ②環境コミュニケーション
- 09 環境に関する取り組み ③環境リスク対策

編集方針

本報告書は、株式会社JR中央ラインモールにおける環境の取り組みについて報告することを目的としています。

「より多くの方々にわかりやすく」をコンセプトに、図表、または写真を多用し、可能な限り用語の補足説明なども行っています。

実施している環境施策の内容は、測定結果や達成率などの客観的データも含めて紹介しています。

報告対象期間

データは2017年度(2017年4月1日~2018年3月31日)の実績です。

活動内容は一部それ以前のもの、および本書発行直前のもも含んでいます。

会社沿革 

2010年	12月	会社設立
2012年	9月	nonowa 西国分寺 開業
2013年	4月	武蔵境駅 駅業務 受託開始
	5月	nonowa 武蔵境 WEST 開業
2014年	1月	nonowa 東小金井 EAST・WEST 開業
	4月	nonowa 武蔵境駅間 順次開業 nonowa 東小金井駅間 順次開業
	5月	国立駅 駅業務 受託開始
2015年	2月	nonowa 武蔵小金井 EAST 開業
	4月	東小金井駅 駅業務 受託開始 nonowa 国立 EAST 開業
	12月	nonowa 武蔵小金井 WEST 開業
2016年	4月	nonowa 国立駅間 順次開業 nonowa 国立 WEST 開業
	6月	nonowa 武蔵境 EAST 開業
	12月	nonowa 武蔵小金井 SOUTH 開業
2017年	4月	武蔵境ぼっぼ公園 開業

会社概要 

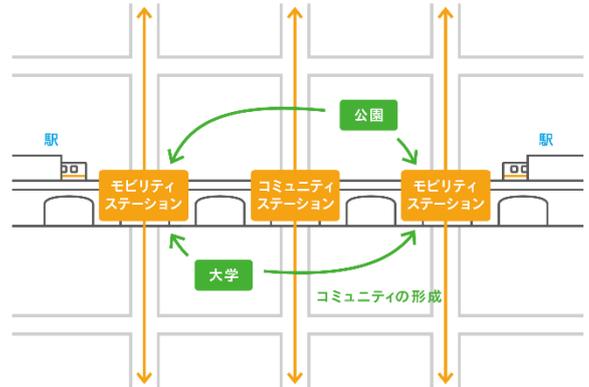
社名	株式会社JR中央ラインモール (JR Chuo Line Mall Co., Ltd.)
所在地	東京都小金井市本町 1-18-10
設立	2010年12月1日
資本金	12億3,000万円 (東日本旅客鉄道株式会社100%出資)
事業内容	商業施設等の企画・運営・開発 駅業務受託
社員数	83名(2018年4月1日現在)



会社設立の背景

線路がある事で南北に分断されていた街、踏切待ちによる交通渋滞の解消を目的に中央線連続立体交差事業が実施されました。その結果、高架下に9km, 7万㎡の空間が誕生しました。

当社はその空間を統一したコンセプトで一体的に開発し、中央線の沿線価値を総合的に向上させる事を目的に設立されました。



nonowa とは

豊かな自然や個性豊かな文化と駅・街とをつなぐ「武蔵野のわ『輪・和』になりたい」という願いをこめて緑×人×街つながる「nonowa(ののわ)」と名付けました。緑と文化の溢れる中央線沿線に生まれた高架下空間において人と人、人と街、街と街、過去から未来へ「つながる社会」を創り、心豊かな暮らしの実現を目指しています。

※ロゴマークは武蔵野の土・水・緑の輪が重なる「nonowa」のハートを表現しています。



会社方針

企業理念

私たちは、地域に根差した存在として、中央線の沿線価値を総合的に向上します。

ビジョン

使命感を持った挑戦

会社の使命に誇りを持ち、安全安心の追求、サービス品質の向上に向けて、常に挑戦します。

お客さま視点と地域視点

お客さま・地域の皆さまに寄り添う存在として、接点を大切にします。

多様な力の活用

地域プレイヤーやビジネスパートナーと連携し、多様性を活かして新しい価値を創造します。

未来に向けた革新

既存の概念にとらわれず、新しい仕組みや手法を追求し、社員の力を活かして、次世代に向けて革新し続けます。



環境経営の基本的な考え方について 

私たちは、以下の環境理念・環境方針を掲げ、代表取締役社長を環境経営責任者として環境マネジメント体制を構築し、地域社会の発展に貢献するとともに地球環境問題にも積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

 環境理念

私たちは地域に根ざした存在であり続けるため、環境問題に真摯に取り組み、「nonowa」のロゴが示す武蔵野の「土」その上に育つ「緑」流れる豊かな「水」を守ります。

また、この豊かな自然と文化・駅・街をつなぎ「緑×人×街 つながる」中央線沿線の価値向上に貢献します。

 環境方針

- ・法令・条例を遵守し環境問題に真摯に取り組みます。
- ・エネルギー消費量や廃棄物量を正しく把握し、その削減に努めます。
- ・地域の方と共に環境活動を行い沿線環境の向上に貢献します。
- ・環境問題に全社員が興味をもち一丸となって取り組みます。

 環境マネジメント体制



2018年3月現在



トップメッセージ



次世代に豊かな自然

〈武蔵野の「土」その上に育つ「緑」流れる「水」〉
を受け継いでいく

JR 中央ラインモールは、中央線の連続立体交差事業を契機に生まれた
駅を中心とした高架下空間を中心に中央線の沿線価値向上を目指して誕生しました。

沿線価値向上の取組みのひとつとして、中央線沿線の豊かな自然
〈武蔵野の「土」その上に育つ「緑」流れる「水」〉を次の世代につなげていく
ために、当社と JR 東日本が連携をして、環境活動に取り組んでいます。

今年も 当社の環境への取組みを多くの皆さまに知っていただけるように「環境報告書 2018」をまとめました。
近隣の保育園の方とともに実施する「のみち一斉清掃」や環境省主催の「ライトダウンキャンペーン」への参加、紙資源の使
用量削減を目指す「ペーパーレス会議の導入」などの取組みを新たに推進することができました。

当社は、事業活動を通じて地域社会の一員としての社会に対する責任を果たすとともに、当社ならではの環境活動を通じ
て、これからもお客さまそして地域の皆さまから信頼される企業を目指してまいります。



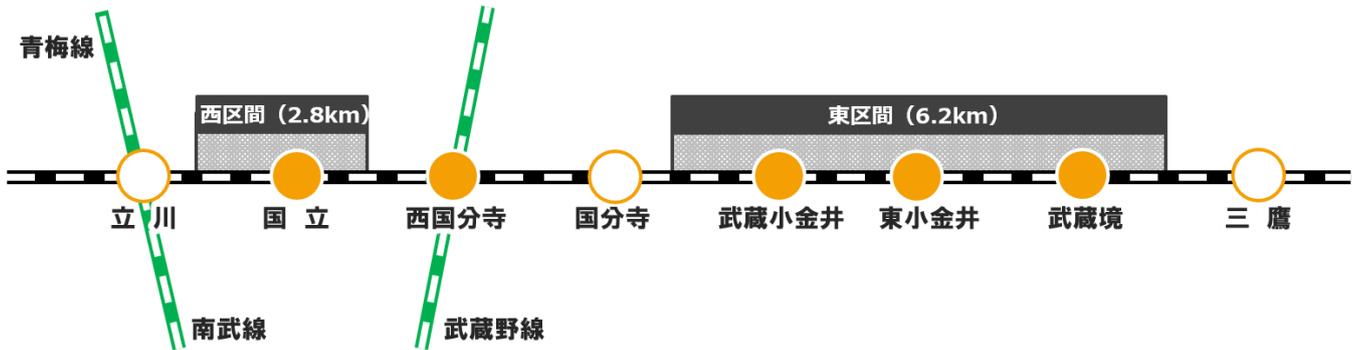
株式会社 J R 中央ラインモール
代表取締役社長 石井 圭





環境に関する取り組み ①ののみち整備 ～地域の自然・文化を大切にしまちづくり～

当社はJR東日本と共に、中央線 三鷹～立川間の高架下の一部空間に、街の回遊性向上を目的とし、皆さまが快適に歩ける歩行空間「ののみち」の整備を進めております。“武蔵野のみち”にちなんで名付けた「ののみち」。武蔵野の大地をイメージした植栽や地域情報を発信するサイン“ありか”“いつわ”など楽しく歩いていただく工夫をしています。駅間部分は、人が集まり地域の交流が生まれることを期待した広場空間やイベントスペースなどを各所に配置しています。また、シェアサイクル「Suicle」の利用を促進し、地域全体の回遊性向上も目指しています。



植栽・壁面緑化



武蔵野の自然の美しさ、四季が感じられる空間とするため、緑化計画を進めています。ののみち沿いの植栽は、高架下にあることから、耐陰性の樹種を基調に選定しています。商業施設 nonowa や入居するテナントの壁面緑化にも積極的に取り組み、nonowa 武蔵境で実施した壁面緑化については当社が、nonowa 国立で実施した緑化については JR 東日本が、公益財団法人東京都公園協会が主催する「東京都都市緑化基金助成」を受けて整備しました。2018年3月現在、緑化した面積は約2,100㎡におよび、約100種類の植栽が広がっています。また2018年4月には武蔵小金井駅西部に ののみちを整備した「ムサコガーデン」を新たに開業する予定です。



nonowa 武蔵境 WEST



nonowa 武蔵境 駅間サカイ西
「コミュニティガーデン」



nonowa 東小金井



nonowa 武蔵小金井 WEST



nonowa 武蔵小金井ムサコガーデン
(2018年4月開業予定)



nonowa 国立 WEST



Suicle (スイクル)



緑豊かな公園を始め各種文化施設など、中央線沿線には魅力的なスポットが点在しています。訪れた方が地域の魅力を感じながらまちを巡ることができるように、JR東日本がシェアサイクル「Suicle」のポートを整備しました。(ポート設置場所：武蔵境・東小金井・武蔵小金井・国立の各駅)。当社はその「Suicle」の利用促進を行っています。自転車はCO₂排出がないエコな乗り物として近年注目されていることから、今後も「Suicle」の利用を促進し、地域や環境に優しいまちづくりをすすめていきます。



武蔵境駅ポート



東小金井駅ポート



武蔵小金井駅ポート



国立駅ポート

■利用促進イベント

JR東日本と当社が主催し、国立市観光まちづくり協会とも連携しながら、国立駅・谷保駅に臨時ポートを設置して、地域で開催されるイベントをSuicleで巡るキャンペーンを2017年5月に実施しました。



国立駅臨時ポート





環境に関する取り組み ②環境コミュニケーション ～環境活動を通じた地域社会貢献～

環境イベントの開催



当社は JR 東日本と連携しながら、nonowa や高架下のイベントスペースにおいて年間を通じてさまざまな地域イベントを開催しています。環境に関わるイベントも実施しており、参加された方に楽しんでいただきながら、地域の方たちと一緒に、環境活動を推進しています。

■ガーデニングイベント

武蔵境～東小金井間の高架下に整備した地域の憩いの広場「コミュニティガーデン」において、JR 東日本と当社が主催し、NPO 法人 birth と協力して住民参加型のガーデニングイベントを実施しています。これまで、ガーデン内の植栽の植替え、植物に親しめるワークショップ、ガーデニングをテーマにしたトークセッションを開催してきました。2017 年度については、5 月・10 月にイベントを開催し、合計で約 300 名の方にご参加いただきました

ののみち ガーデニング DAY HAPPY HALLOWEEN
10/22 金曜日 14:00～17:00

9:30-10:40 高架下のカーテンに遊びに来ませんか?
コミュニティガーデン de 植替えレッスン
ガーデンの植物の植替えを行いながら、専門家がガーデニングのポイントを紹介します。ガーデンツアーやハロウィンピックでガーデンを飾るお楽しみもありますよ!

11:00-15:00 みんなでつくろ楽しいハロウィン!
ハロウィンデコレーション ワークショップ
コミュニティガーデンをみんなでハロウィンバージョンに変身させよう! がけやに顔を貼ったり、お菓子にハロウィンの装飾をつたり、みんな盛り上がるお楽しみ企画も盛り込んで!

11:00-15:00 ハロウィンクワットをつくろう!
ハロウィン ミニリースづくり
小さなリースを木の葉やオーナメントで飾り付けて、自分だけのオリジナルリースを作ります。お家のドアに飾ったり、パレードにもどうぞ!





地域の清掃活動



地域の一員として、地域が主催する清掃活動や自治体等の主催で行われている地域の一日清掃「ごみゼロ運動」に積極的に参加しています。また、会社全体で地域のゴミ拾いを実施するなど、地域社会貢献活動に取り組んでいます。

■地域が主催する環境活動への参加

武蔵境駅・国立駅では、行政や地域の方と連携して駅周辺の一斉清掃を年に2回実施しています。東小金井駅では 商店会と連携した清掃を月1回実施しています。



■ののみち一斉清掃

ののみちを綺麗に保ち、沿線にお住いの方々に気持ちよく利用していただくため、2017 年度も社員でののみちの一斉清掃を年3回（2017年5月・12月、2018年3月）実施しました。3回目の一斉清掃では、近隣の保育園の方と一緒に実施しました。

（2017年度 武蔵境駅～武蔵小金井駅間と、国立駅～立川駅間の一部で、延べ76名で実施）





環境に関する取り組み ③環境リスク対策 ～地球環境保全に向けた取り組み～

節電・省エネ



クリーンなエネルギーの導入・最新設備導入によるエネルギー使用の一層の効率化により、エネルギー総使用量の削減に取り組むとともに、地球温暖化の原因となるCO₂排出量削減に努めています。

■LED照明採用による節電

消費電力の削減のため店舗施設やのみちの照明を、白熱灯・水銀灯・蛍光灯などから消費電力の少ないLED照明に積極的に交換しています。2018年2月現在で、LED化率はおよそ89%となりました。



LED化実施箇所：2017年7月 nonowa 武蔵小金井 SOUTH
2018年3月 nonowa 武蔵境 WEST



■ライトダウンキャンペーンへの参加

環境省では、2003年より地球温暖化防止のため、ライトアップ施設の消灯を呼びかける「CO₂削減/ライトダウン キャンペーン」として、毎年夏至の日を中心に20時から22時の間、照明の一斉消灯を呼びかけています。

弊社でも、社員に日常生活の中で地球温暖化防止について考える機会をつくることを目的として、環境省主催のライトダウンキャンペーンに賛同し、2017年の夏至と七夕の日に、本社はオフィス消灯、nonowa 武蔵小金井 SOUTH では外看板の消灯を実施しました。



■エコオフィスマニュアル策定

当社では、環境経営の方針の下、勤務者全員がオフィス等における環境配慮活動を率先して行うための手順書となる「エコオフィスマニュアル」を2017年8月に策定し、省エネ・省資源活動に積極的に取り組んでいます。

■遮熱フィルム導入による節電

店舗ガラスに遮熱フィルムを採用することにより、屋外から室内へ流入する日射熱の量を低減。夏季期間における室内温度の上昇を抑え、空調効率の向上・電気使用量の削減につながりました。

【採用施設】 nonowa 国立 EAST



環境保護



当社では、環境負荷の低減と資源の有効利用を図るため、産業廃棄物の発生抑制に関する取り組みやリサイクルを推進しています。

■ペーパーレス会議の導入

フリーアドレス導入を目的としたオフィス改装（2017年9月）により、社員一人あたりの省スペース化を実施しました。あわせて、会議室へのモニター設置・タブレット端末配備によるペーパーレス会議を導入することで紙資源の使用量を削減しました。

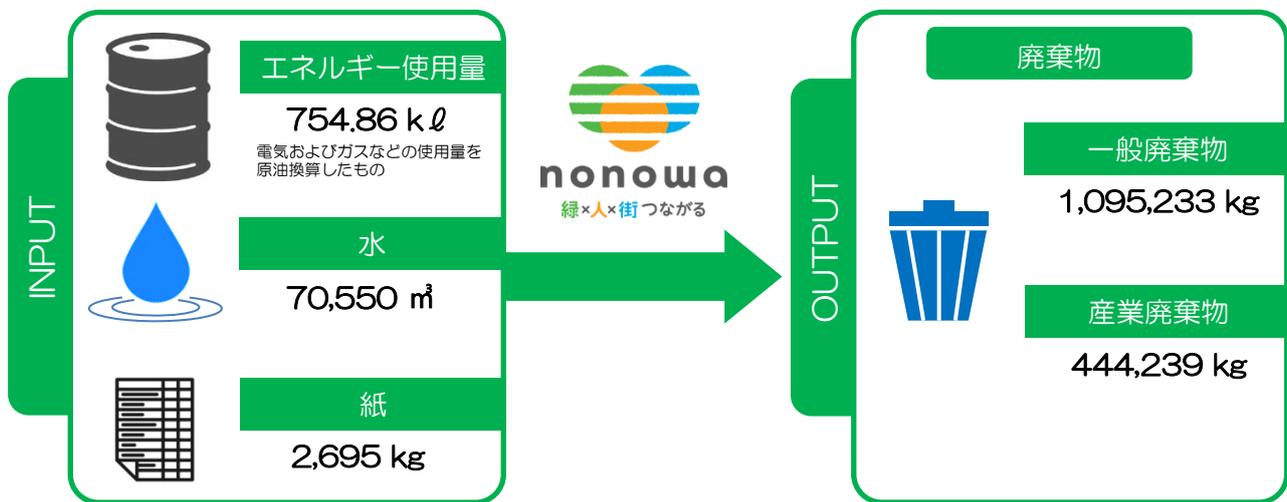




■産業廃棄物・資源循環

当社では、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）に代えて、オンラインで産業廃棄物の流れを管理できる仕組みである電子マニフェストを導入しています。また、食品廃棄物の削減のため食品リサイクルに取り組んでおり、nonowa 武蔵境・nonowa 東小金井の生ごみについては食品廃棄物の飼料化処理を行っています。それに加え 2017 年度より nonowa 武蔵小金井でもはじめました。そのほか、グリーン購入ガイドラインを制定し、コピー用紙と事務・文具用品について グリーン購入を推進しています。

また当社では、事業活動に伴い使用・排出される環境負荷を把握し、その低減に努めています。2017 年度の環境負荷の状況は以下の通りです。





JR中央ラインモールでは、お知らせやイベント情報などの紹介を、ホームページやフェイスブックページで積極的に発信しています。ぜひご覧ください。



nonowa ホームページ
<http://www.nonowa.co.jp>



公式フェイスブック
nonowa.jp

そのほか、「中央線が好きだ。」公式アカウントを通して、中央線沿線の魅力やイベント情報を発信中です。



中央線が好きだ。公式 Twitter
[@chuosuki](https://twitter.com/chuosuki)



中央線が好きだ。公式 Instagram
[chuosuki](https://www.instagram.com/chuosuki)



nonowa

緑×人×街 つながる